

# 能登半島地震被災地支援行動

七尾支部



## 被災地の支援行動を終えて

全港湾日本海地方本部 山賀茂

去る、1月1日に発生した能登半島地震は、日本海地区においても石川県で震度7、富山県、新潟県は震度5強となり各地、各港で大きな被害となりました。幸いにも組合員全員の人命は確保されましたが、残念ながら親戚関係で亡くなられた方の報告等を受けています。亡くなられた方や被災された方々のご冥福とお見舞いを申し上げます。

私達は日本海地区として、1月5日対策本部を立ち上げ、zoomによる執行委員会を開催し、情報の把握に努めると共に報告体制の確認を行いました。また一日も早い復旧、復興と雇用と職域を守り、組合員が元の生活に戻れるように取り組む事を決定しました。併せて、上記を全国港湾と全港湾中央本部に連絡し、いち早く全国港湾、港運同盟を含め各地方、支部より多大なる義援金と激励を受けました。この事に関し心より感謝致します。

日本海地区港湾・鈴木議長（全港湾日本海地方本部執行委員長）は、山賀、小林と共に1月28日（日）に金沢港、七尾港、伏木港に出向き、全国の仲間の激励と義援金を届けてきました。各地の委員長からは、未だ被災地組合員の中には避難所で生活する人や断水が継続している地域に住む人など平穏な生活が営めないなどの報告を受けました。また、私たちの職場である港も数か所の岸壁で隆起や陥没、地割れなどの被害について、国、港湾管理者から使用許可が下りていません。各省庁や自衛隊の支援船などが入港するに留まっています。

この取り組みにより各支部から、組合員の安心を取り戻したいとする力強い言葉をもらい感銘を受けました。時間は掛かるかもしれませんが、日本海地区として団結して復旧、復興を成し遂げ、組合員に笑顔が戻るまで頑張ります。



金沢港運





## 能登半島地震港湾被災状況

REPORT

